

平成30年度咲くやこの花賞受賞者  
《音楽部門》

あさい さきの  
**浅井 咲乃** [ヴァイオリン]

1980年（昭和55年）7月生まれ（38歳）



[贈呈理由]

大阪を拠点に、オーケストラのコンサートマスターとして、またソリストとしても活発に活動している。確かな実力と演奏センスで2004年にバロックザール賞を受賞するなど、若手の女性ヴァイオリニストとして評価を高めている。クラシカル楽器とモダン楽器の両方を自在に演奏して多くの音楽ファンを魅了しており、受賞を弾みにしてさらなる活躍が期待できる。

[プロフィール]

- ・テレマン室内オーケストラ、ソロコンサートマスター。
- ・大阪府立夕陽丘高校音楽科、および京都市立芸術大学音楽学部を卒業。
- ・ヴァイオリンを池田真紀子、近藤昌子、高橋満保子、梅原ひまりの各氏に、バロックヴァイオリンをU. ブンディース氏に、バロック音楽の語法を延原武春氏に師事。
- ・2012年に1stアルバム、ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」「四季」を、2015年には、ロマン派の名曲を集めた2ndアルバム「よろこびとかなしみ」をナミレコードよりリリース。
- ・大阪市浪速区の「文化親善大使(728 大使)」として地域の文化振興にも力を入れつつ、活動の幅を広げている。

[主な受賞歴]

2004年 京都室内オーケストラとしてバロックザール賞、  
第6回神戸国際学生音楽コンクール優秀賞